



# 地区だより すすすま

第 18 号

平成 2 年 1 月 25 日  
発行  
須々万地区まちづくり  
推進協議会広報部

## 新年のご挨拶

須々万支所長  
前田 浩



新年明けまして、お目出度うございます。本年も健康で明るい幸せな年でありますよう心からお祈り申し上げます。さて私達誰もが平和で潤いのある社会を望んでいます。世界は著しく変化しつつあり私達の身の廻りにも交通安全等の問題が押し寄せています。又これからの日本国は国際化時代や情報化時代そして高令化時代だと云われていますが、どれをとっても大きな課題ばかりで大変な時代を迎えることと思われまます。

こうした世の中にあつて、先ず一番大切なことは私たち一人ひとりの健康です。日頃身体のことには深くも浅くも考えず生活をおくっています。色々なることに危険が山積して

おります。例えば暴飲暴食や無理な過労から病にかかるといふ目に見えないことでもあります。又少しの心の緩みから交通事故を引き起こして、尊い生命を失うなど全く予期しないことを、よく耳にしますが、いざいざ家庭に不和をもたらすものであります。

このような出来事には、お互い平素から家庭や職場において多くの方々とふれあいをもち注意しあつて万全に期する事が大切ではないでしょうか。時には「初心」にかえつて、もう一度考え改めあうことも必要です。とかく私利私欲に走り体調を乱すことがありますが、健康は幸福のバロメーターです。この一年も笑顔で送りたいものです。

最後に私の好きなことばに「虚心坦懐」と云うことばがあります。(何のわだかまりも無く広い平らかな心でもって素直に物言に臨みたい)ものです。

プロフィール  
趣味：読書・囲碁・書道  
昭和六年六月二十四日生

## 初日の出 歩こう大会

午前6時、まだ暗闇の中、体育振興会松田会長を先頭に緑山に向けて公民館を出発しました。総勢180人の老若男女が参加し、例年のない好天に恵まれ初日の出とともに新春を祝しました。

初めて参加した人の中には、ふとんの中では味わえない喜びを親子で感じた人、また年配の方は今年も登ることができてうれしいと満足しておられました。

中腹では式典と福引きが行なわれました。



## 健康一口メモ



寒い季節、お風呂は体を温めるよい方法です。しかし、入浴中の事故も少なくありません。特に冬に多いことから、急な温度差や不適當な温度のお湯に入ることによる血圧変動の要因が大きいようです。事故防止のためには、ぬるめのお湯にゆっくり入ること。熱めの湯は神経を刺激して、寝つかれなくなったりする場合があります。また、温度差を少なくするために、入浴前にお湯を流して床を温めたり、脱衣場にストーブを置いたりする工夫が必要です。



## 差別するものは 弱い心から

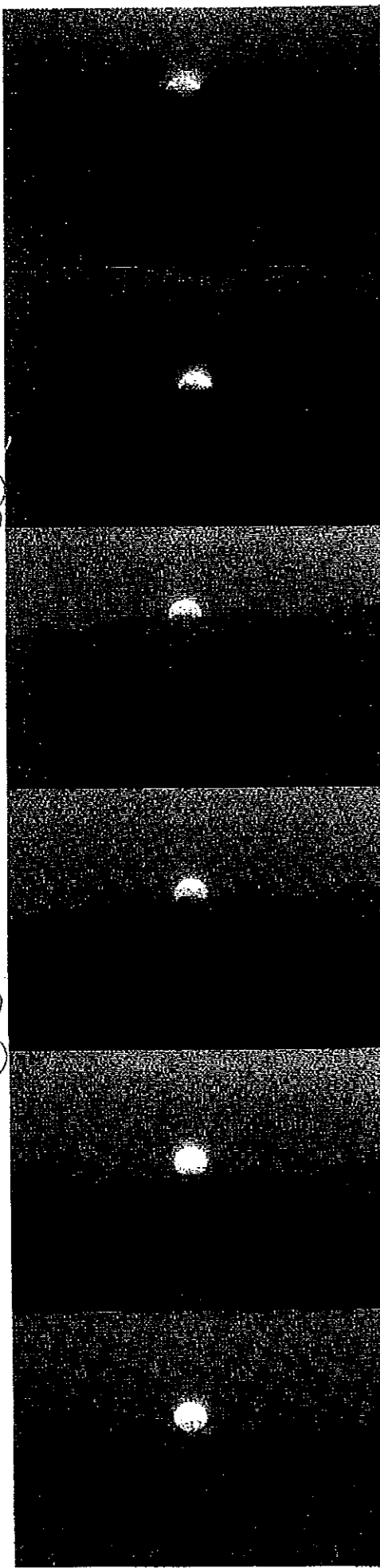
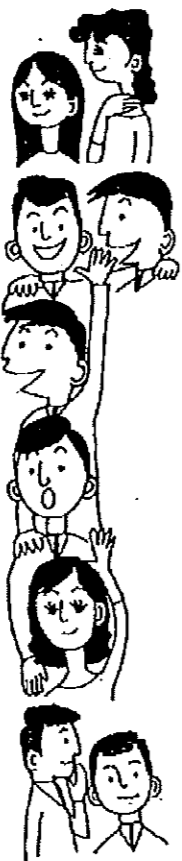
須々万中学一年生

この作文を書く前に、私には何の関係ないことなのに、私に思っていた。しかし、深く考えてみると差別は身近にあることに気がきました。

それは母の知り合いで私も一、二度会ったことのある優しくりっぱなお姉さんが、お父さんが外国人であったと言ふ理由から恋愛が断わられたそうです。こうしたことは、人の心を踏みにじる大きな差別ではないでしょうか。又、昔は貧富の差が大きく同和問題など、人権を無視し

た差別があつたようですが今日の民主社会ではけつしてあつてはならないことで、こういうことは小学校の先生からも教えていただいております。

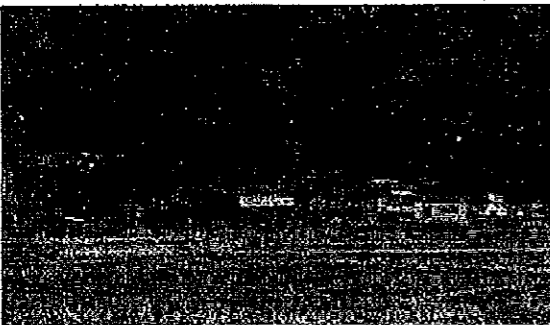
どうして同じ人間なのに差別されなくちゃいけないのでしょうか、貧しい人だから生れが違うからと言つて差別してもよいなどと思ひ込んでいる人は大嫌いです。次の時代を担う私たちは、強い心を持つて学生時代からがんばつて一つでも一人でも多くの差別とみんなの手で取り除き、一日も早く同和問題解決に努力し明るいまちづくりに取り組みたいものです。



《書道》



角本福美さん 五郎丸美代子さん



須々万沼城の戦い  
都濃郡須々万は古くからの周防北道の要衝である。そこで大内義長は毛利軍迎撃の最大拠点として、山口から多数の援軍を送りこみ、その守勢は一万余りに上ったという。加うるに沼城はその名の如く三方を沼に囲まれた要害であり、城将山崎興盛は武勇をもって聞えた。毛利軍は1556（弘治2）年に4月上、中旬、9月と3度攻撃をくりかえしたが、失敗した。ここにおいて、元就は新兵器である鉄砲を用意するとともに、沼の徒渉用の編竹や菰を大量にととのえ、周到な準備のもとに翌年2月、みずから長子隆元および小早川隆景以下をひきいて出陣し、29日から総攻撃をかけ、3月2日にいたって、漸くおとし入れることができた。沼城陥落は大内勢総くずれの換歌となって1か月後の義長の長府自刃まで一気に進むのである。

作品コーナー

《俳句》

鴨翔ちて鶴唳四方におこりけり  
つづけるに努力要るもの日記とは  
初富士の写真の賀状来し十日  
落穂田に鶴くる日々の景となる  
はるかなる稜線に出し初日かな

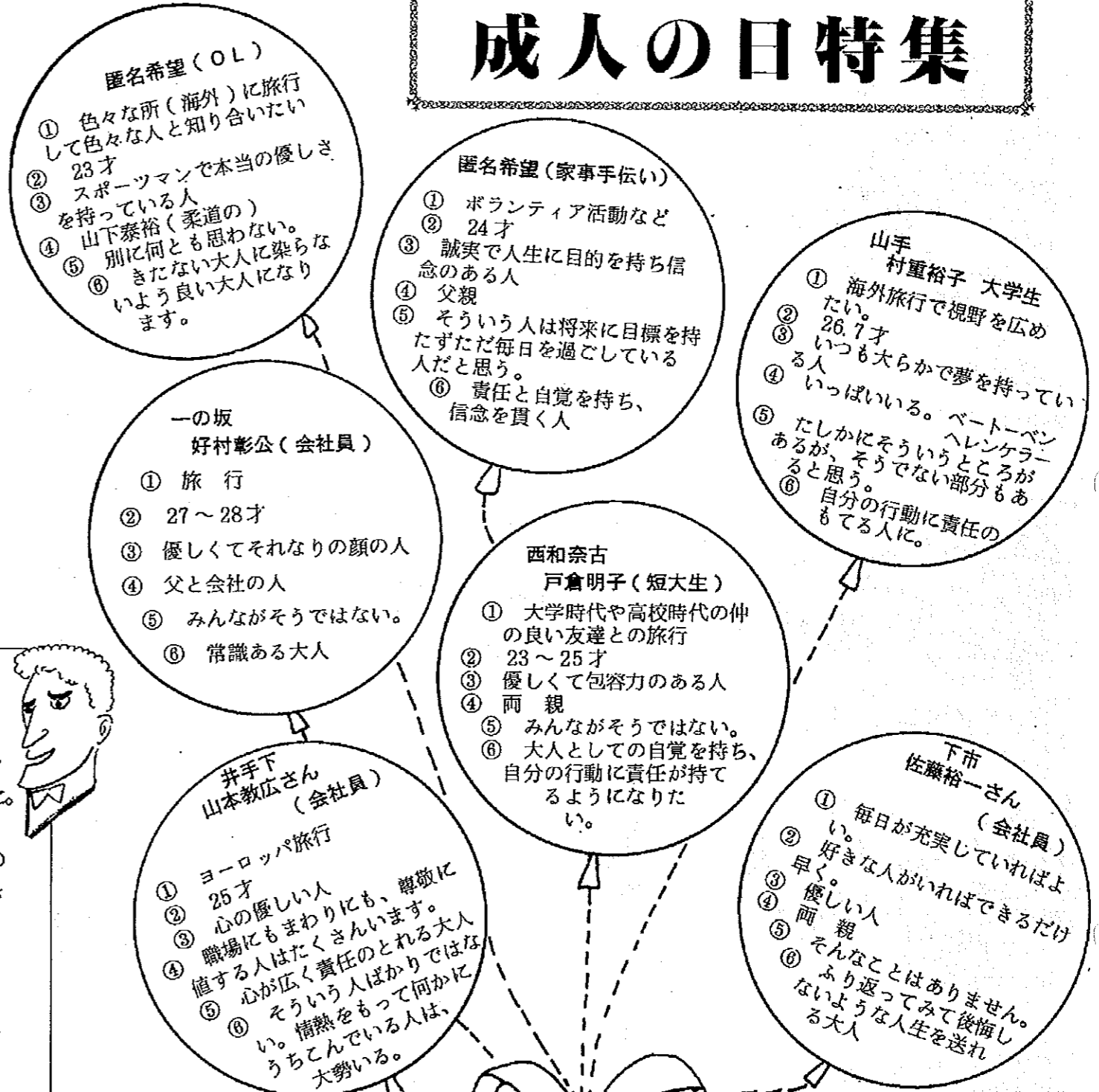
萍花  
あかね  
豪男  
和子  
よし子

ホームステイ

1月9日～1月12日の4日間  
世界青少年交流協会によるオーストラリアの青少年15人が徳山市を訪れました。一行は9日と10日の2日間徳山市や光・新南陽にホームステイをし、それぞれのホストファミリーと共に楽しいひとときを過ごしました。  
須々万にもマイケル・ベテナイさん（放射線技師 21才）が徳本保介さん（東和奈古）宅へホームステイし、交友を深めました。



成人の日特集



須々万 57人  
(男29人・女28人)

市全体 1,465人  
(男817人・女648人)

質問

- ① 20才になってしてみたいこと。
- ② 結婚は何才位でしたいですか。
- ③ 理想の男性は？ 女性は？
- ④ 尊敬する人はだれですか。
- ⑤ 今の若い人は無関心・無気力・無感動といわれますが、どう受けとめますか。
- ⑥ どんな大人になりたいですか。